

令和5年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名： 研究課題名「堆肥の水稲育苗培土への利用」

事業実施期間： 令和2年度から令和6年度

担当課室名： 古川農業試験場作物環境部

担当班名 病害チーム

TEL： 0229—26—5107

e-mail:fn-sk@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hk-nousi/>

1 事業の目的

県内の堆肥センターで産出される各種堆厩肥を育苗培土へ混合し、その病害（もみ枯細菌病）防除効果を確認することで、育苗時に使用する農薬成分の節減および未利用堆厩肥の利用推進に資する。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

県内7カ所（本吉、金成、豊里、石巻、迫、角田、築館）の堆肥センターの堆肥を覆土に混合し、もみ枯細菌病の抑制効果を確認した。

また、次世代シーケンサーを用いて取得した堆肥内の微生物叢のデータを解析し、病害抑制効果のメカニズムを検討した。

3 当該年度の実施事業の成果

堆肥を覆土へ30%混合することで、もみ枯細菌病を抑制することを本年度も確認した。また、次世代シーケンサーを用いて取得した堆肥内の微生物叢のデータを解析し、病害抑制効果のメカニズムを検討したところ、堆肥内の微生物叢の多様性の高さが病害抑制効果に寄与していることが示唆された。

4 今後の展開

覆土に30%混合することでもみ枯細菌病発生抑制効果が確認されたことから、引き続き年次変動を確認するとともに、発病後の覆土内の微生物叢を解析することで、微生物叢の変化と病害抑制効果との関係を検討する。また、実用化に向けて、播種機を用いて覆土した場合の作業性、堆肥が苗質に及ぼす影響についても調査する。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

（指標： 堆肥の利用量）

単位：t

令和3年度	令和4年度	令和5年度
0	0	0

6 事業費の推移

単位：千円

令和3年度	令和4年度	令和5年度
2,676	2,755	2,768